


簡単操作のショートカット・キー

パソ救・勉強会資料 2012(H24).4.22 (日) 於：まなび北新

2012(H24).3.7 T.Ogawa

ショートカット (shortcut) は、英語で「早道」、「てっとり早い方法」、「手抜き」を意味している。

Windows では、左下に  が付いたアイコン (icon : 画像) をショートカット・アイコン (略してショートカット) と呼ばれ、早道でてっとり早い方法でファイルやプログラムを開く機能を持っている。

これは、ショートカット・アイコンを開くだけで、それに組み込まれているリンク情報 (アクセス経路) を自動的にたどって、目的のファイルやプログラムを開く機能である。(Mac OS では、同様の機能を「エイリアス」と呼んでいる)

Windows には、今回勉強するもう 1 つのショートカットの名が付く機能がある。それは、プログラムに対して早道でてっとり早い方法でコマンド (指令、命令) を実行させる機能であり、ショートカット・キーと呼ばれている。

ショートカット・キーは、キーボードにある特殊キーと他のキーを組み合わせで押し、早道でてっとり早い方法でプログラムにコマンドを実行させる機能ある。このためショートカット・キーは、C U I シーユーアイ キャラクター (*) (Character User Interface) ユーザ インターフェイス の一種と言えなくもない。



(※) CUI は、コマンドを専門語や略号等の文字で入力してコンピュータを操作する方法であり、難解な方法のため、一般ユーザがパソコンになじみにくかった。

1984 (S59) にアップル社が G U I ジーユーアイ グラフィックス ユーザ インターフェイス (Graphical User Interface) マッキントッシュ 採用の Macintosh パソコンを世に出した。9 年遅れの 1995 (H7) にマイクロソフト社が GUI 採用の Windows 95 を出して以降、パソコンが一般ユーザに普及した。



目次

1. ショートカットキーで使用する主なキー	1
2. Windows のシャットダウン	2
3. ウィンドウの操作	2
3.1. ウィンドウを非表示／表示にする	2
全てのウィンドウを最少化する	2
デスクトップを表示する／元に戻す 《Windows 7》	2
アクティブ・ウィンドウ以外を最少化する／元に戻す 《Windows 7》	3
3.2. ウィンドウを左半分／右半分に表示する 《Windows 7》	3
3.3. ウィンドウのサイズを拡大／縮小する	3
ウィンドウのサイズを最大化する	3
ウィンドウのサイズを最少化する	3

ウインドウのサイズを元に戻す	3
ウインドウを横方向に拡大／縮小する	4
ウインドウを縦方向に拡大／縮小する	4
3.4. ウインドウを切り替える	4
3.5. プログラムを終了しウインドウを閉じる	4
3.6. ウインドウ（プログラム）を強制終了する	5
4. Windows の標準的なショートカット	5
4.1. コピー、切り取り、貼り付け	5
選択データをコピーする	5
選択データを切り取りする	5
クリップボードのデータを指定位置に貼り付ける	5
4.2. 操作を繰り返す／元に戻す	6
繰り返し ()	6
元に戻す ()	6
4.3. 選択データに関するメニューを表示させ操作する	6
4.4. 全てを選択する	6
4.5. 印刷する	7
4.6. 検索する	7
4.7. ウインドウのヘルプを表示する	7
4.8. ファイル／フォルダ等の名前を変更する	7
4.9. ファイルのプロパティを表示する	7
4.10. ファイル／フォルダを削除する	7
ファイルやフォルダを [ごみ箱] に捨てる	7
ファイルやフォルダを強制削除する	8
5. Internet Explorer のショートカット・キー	8
5.1. 日常的な機能をマウスなしで使う	8
ページ更新（最新ページを読み込み表示する）	8
キーワードを入力して Web ページを検索する	8
URL を入力して Web ページを閲覧する	8
[お気に入り] を表示する	8
ページ内の文字列を検索する	9
InPrivate ブラウズのウインドウを開く 《I.E.8 以降》	9
5.2. ページの表示範囲を移動（変更）する	9
ページの先頭に移動する	9
ページの最終に移動する	9
ページ内をジャンプする	9
ページ内をスクロールする	9
5.3. タブ操作でページを切り替える 《I.E.7 以降》	10
次のタブに移動する	10
前のタブに移動する	10

表示中のタブを閉じる	10
新しいタブを開く	10
6. Word のショートカット・キー	10
6.1. 段落の横配置（揃え）を変更する（両端／中央／右／左）	10
両端揃えにする	10
右揃えにする	11
中央揃えにする	11
左揃えにする 《Word 2007 以降》	11
6.2. 文字を強調する（太字／斜体／下線）	11
文字列を太字に変更する／元に戻す	11
文字列を斜体に変更する／元に戻す	11
文字列に下線を引く／元に戻す	11
6.3. カーソルを移動する	11
文頭にカーソルを移動する	11
文末にカーソルを移動する	12
上下方向にジャンプする	12
1行単位にカーソルを移動する	12
1文字単位にカーソルを移動する	12
6.4. 文字列を選択する	12
6.5. 文字列を置換する	12
7. Excel のショートカット・キー	13
7.1. セルを選択する	13
先頭セルを選択する	13
データがある最終のセルを選択する	13
隣のセルを選択する	13
同一行／同一列のデータがあるセルを選択する	13
7.2. セルを範囲選択する	14
7.3. シートを切り替える	14
【おまけ】 操作しやすくするデスクトップの一提案	15





1. ショートカットキーで使用する主なキー

ショートカット・キーで使用する主な特殊キーは、下図に示すようにキーボードの左列、下段、右列に配置されている。












(補足) パソコンのキー配列はデスクトップパソコン／ノートパソコン別、製造メーカー別、シリーズ別等で異なる部分がある。

これらのキーのキートップには、英字で略名が刻印されているが、Windows キーと Application キーには英字ではなく図形が刻印されている。



刻印	キーの名称	ショートカット・キーでの主な役割・機能
Esc	エスケープ Escape キー	処理を中止したり、取り消したりするのに用いる
Tab	タブレイトー Tabulator キー	アクティブ・ウインドウを切り替えたりするために用いられる。 Tabulator : 英語で「表を作るもの」
⇧Shift	シフト Shift キー	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
Ctrl	コントロール Control キー	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
	ウィンドウズ Windows キー	「スタートメニュー」を開くために用いる。 他のキーを組み合わせると、特殊な動作を指示する時に用いる
Alt	オルタネイト Alternate キー	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
	アプリケーション Application キー	右クリックと同じ動作となり、選択中のデータに関連するメニュー(コンテキスト・メニュー)を表示する
BS	バック スペース Back Space キー	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
Del	デリート Delete キー	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
PgUp	ページ アップ Page Up	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる
PgDn	ページ ダウン Page Down	他のキーと組み合わせて、特殊な動作を指示する時に用いる

2. Windows のシャットダウン

機能概要	Windows をシャットダウンする
ショートカットキー	≪Windows 7 の場合≫  →  →  ≪Windows Vista の場合≫  →  →  →  →  ≪Windows XP の場合≫  →  → 
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> システムをシャットダウンし電源を切る





(注) この他に、**Alt** + **F4** を用いる方法もある。







この方法では、ウインドウ (プログラム) が選択されている場合には、そのプログラムの処理を終了しウインドウを閉じるコマンドになるので注意が必要である。(3.5 節を参照)

3. ウインドウの操作

3.1. ウインドウを非表示／表示にする

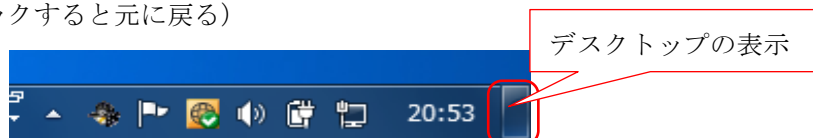
表示されているウインドウの陰に隠れて、デスクトップに配置したショートカット・アイコンの操作がしづらい場合がある。このような場合には次の方法で素早くデスクトップを表示できる。




機能概要	全てのウインドウを最少化する
ショートカットキー	 + 
詳細説明	<ul style="list-style-type: none">  +  を押すと表示されている全てのウインドウを最少化してタスクバーに入れる

機能概要	デスクトップを表示する／元に戻す ≪Windows 7≫
ショートカットキー	 + 
詳細説明	<ul style="list-style-type: none">  +  を押すとデスクトップが表示され、表示されていた全てのウインドウが非表示になる。 再度、 +  を押すと元に戻り、非表示になっていたウインドウを再表示する

(参考) Windows 7 では、下図に示す [デスクトップの表示] ボタンがタスクバーの右端に追加された。これをクリックすると、デスクトップが表示され、表示されていた全てのウインドウが非表示になる。

(再度、これをクリックすると元に戻る)








機能概要	アクティブ・ウインドウ以外を最少化する／元に戻す 《Windows 7》
ショートカットキー	 + Home
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・  + Home でアクティブ・ウインドウ以外を最少にしてタスクバーに入れる ・ 再度の  + Home で最小化したウインドウを再表示する

(補足) アクティブ・ウインドウとは、操作対象になっているウインドウを言う。

3.2. ウインドウを左半分／右半分に表示する 《Windows 7》

Windows 7には、デスクトップの左端にウインドウをぶつけて左半分にウインドウを表示し、デスクトップの右端にウインドウをぶつけて右半分にウインドウを表示する機能が追加された。この機能を次のショートカット・キーで代行できる。

機能概要	ウインドウをデスクトップの右半分／左半分に表示する
ショートカットキー	 + ( or )
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ウインドウをデスクトップの右半分／左半分に表示する  : ウインドウをデスクトップの右半分に表示する  : ウインドウをデスクトップの左半分に表示する

3.3. ウインドウのサイズを拡大／縮小する

ウインドウのサイズ変更には、最大化する、最少化しタスクバーに入れる／元のサイズに戻す等がある。

機能概要	ウインドウのサイズを最大化する
ショートカットキー	Alt + Space + X
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ウインドウのサイズを最大 (Maximum) にする

(注) Windows 7 には、この他に  +  を用いる方法もある。

機能概要	ウインドウのサイズを最少化する
ショートカットキー	Alt + Space → N
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ウインドウのサイズを最少 (Minimum) にしてタスクバーに入れる

(注) Windows 7 には、この他に  +  を用いる方法もある。

機能概要	ウインドウのサイズを元に戻す
ショートカットキー	Alt + Space → R
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ウインドウを変更前のサイズに戻す

機能概要	ウインドウを横方向に拡大／縮小する
ショートカットキー	Alt + Space → S → [横方向キー] → [横方向キー] → Enter
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ [横方向キー] : → でウインドウの右枠線を選択し、 ← でウインドウの左枠線を選択する ・ [横方向キー] : → を押すと選択した枠線を右方向に拡大／縮小し、 ← を押すと選択した枠線を左方向に拡大／縮小する ・ Enter でサイズ変更を確定 する

機能概要	ウインドウを縦方向に拡大／縮小する
ショートカットキー	Alt + Space → S → [縦方向キー] → [縦方向キー] → Enter
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ [縦方向キー] : ↑ でウインドウの上枠線を選択し、 ↓ でウインドウの下枠線を選択する ・ [縦方向キー] : ↑ を押すと選択した枠線を上方向に拡大／縮小し、 ↓ を押すと選択した枠線を下方向に拡大／縮小する ・ Enter でサイズ変更を確定 する

3.4. ウインドウを切り替える

複数のウインドウを開いている時に、手前に表示するウインドウを切り替える。

機能概要	任意のウインドウを手前に表示する
ショートカットキー	Alt + Tab → Tab … Tab → Alt を離す
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ Alt + Tab で開いているウインドウの小アイコンを一覧表示し、 ・ Alt を押したままで、Tab を押すと手前に表示するウインドウのアイコンがサイクリック（順繰り）に右に切り替わってゆく ・ 目的のウインドウが手前に表示された時に、Alt を離し確定する

(注) Windows 7には、この他に  + **Tab** → **Tab** … **Tab** →  を離す
を用いてウインドウを切り替える方法もある。

3.5. プログラムを終了しウインドウを閉じる

機能概要	プログラムを終了しウインドウを閉じる
ショートカットキー	Alt + F4
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ウインドウを閉じる ・ アクティブ・ウインドウのデータが更新され保存されていない場合は、「保存」か「保存しない」かの問い合わせメッセージを表示 <ul style="list-style-type: none"> { [S] を入力するとデータを保存した後、ウインドウを閉じる { [N] を入力すると保存しないで、ウインドウを閉じる

【重要】 ウインドウが選択されていない場合は、**[シャットダウン]** 画面を表示する
(2章を参照)

3.6. ウィンドウ（プログラム）を強制終了する

実行中のプログラムが何らかの原因で制御不能（終了不能、応答なし等）になった場合は、次善の策としてプログラムを強制的に終了せざるを得ないことがある。

このような場合は、次のショートカット・キーで [タスクマネージャ] を起動して、制御が不能になったプログラムを強制終了する。

機能概要	タスクマネージャを開き強制終了させる
ショートカットキー	《Windows 7 の場合》 [Ctrl] + [Alt] + [Delete] → [タスクマネージャの起動] 《Windows Vista の場合》 [Ctrl] + [Alt] + [Delete] → [タスクマネージャの起動] 《Windows XP の場合》 [Ctrl] + [Alt] + [Delete]
詳細説明	・ ショートカット・キーでタスクマネージャを起動した後、 [アプリケーション] パネルで強制終了するタスクを選択し、 [タスクの終了] を指示して強制終了させる

(注) タスクマネージャの起動方法には、一般に知られている [Ctrl] + [Alt] + [Delete] の他に、
[Ctrl] + [Shift] + [Esc] もある

(補足) これでも駄目な場合は、それ以外のプログラムをすべて終了させた後に、電源ボタンを「長押し」して、システムを強制終了させざるを得ないかも・・・。

4. Windows の標準的なショートカット

ここでは、Windows 上で走行する殆どのプログラムで共通する標準的なショートカット・キーについて紹介する。

4.1. コピー、切り取り、貼り付け




機能概要	選択データをコピーする
ショートカットキー	[Ctrl] + [C]
詳細説明	・ 選択したデータ ^(※1) をクリップボード ^(※2) に複写 ^(※3) する




機能概要	選択データを切り取りする
ショートカットキー	[Ctrl] + [X]
詳細説明	・ 選択したデータ ^(※1) をクリップボード ^(※2) に切り取り ^(※4) する

機能概要	クリップボードのデータを指定位置に貼り付ける
ショートカットキー	[Ctrl] + [V]
詳細説明	・ クリップボード ^(※2) に保存しているデータを指定位置に貼り付ける ^(※5)

- (※1) 操作対象にしたデータ（フォルダ、ファイル、画像、文字列等）
 - (※2) [コピー] や [切り取り] したデータを一時保存するメモリ上の領域
 - (※3) 選択したデータを複写し、クリップボードに（スタンプとして）保存する
 - (※4) 選択したデータを切り取って、クリップボードに（スタンプとして）保存する
 - (※5) クリップボードに（スタンプとして）保存したデータを指定位置に貼り付ける（押印する）
- なお画像の貼り付けでは、指定位置以外に貼り付ける場合がある。










4.2. 操作を繰り返す／元に戻す



機能概要	繰り返す ()
ショートカットキー	 + 
詳細説明	・ 直前の操作を繰り返す（やり直す）

機能概要	元に戻す ()
ショートカットキー	 + 
詳細説明	・ 直前の操作を元に戻す（取り消す）



4.3. 選択データに関係するメニューを表示させ操作する

選択したデータ（ファイル／フォルダを含む）を右クリックして表示させるメニューをコンテキスト・メニューと呼び、次のショートカット・キーで代行できる。

機能概要	コンテキストメニューの表示
ショートカットキー	 → ( or ) → 
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・  で選択したデータに関連するメニューを表示する ・  or  でコマンド（指令、命令）を選択し、 （コマンドに ▶ が付いている場合は、 でサブメニューを表示し移動） ・  でコマンドを実行 <p>（補足）コマンドを選択する方法には、コマンド右の（ ）内に記された英字を入力する方法もある</p>

（注）この他に、 +  を用いてコンテキスト・メニューを表示する方法もある。

4.4. 全てを選択する

機能概要	全てを選択する
ショートカットキー	 + 
詳細説明	・ アクティブ・ウィンドウ内のデータを全て選択する

4.5. 印刷する

機能概要	印刷する
ショートカットキー	Ctrl + P
詳細説明	・ [印刷] 画面を表示する

4.6. 検索する

機能概要	検索する
ショートカットキー	Ctrl + F
詳細説明	・ [検索] 画面を表示する

4.7. ウィンドウのヘルプを表示する

機能概要	アクティブ・ウィンドウのヘルプを表示する
ショートカットキー	F1
詳細説明	・ アクティブ・ウィンドウ（プログラム）のヘルプ画面を表示する

4.8. ファイル／フォルダ等の名前を変更する

機能概要	名前を変更する
ショートカットキー	F2
詳細説明	・ 選択したファイル／フォルダの名前を変更する

4.9. ファイルのプロパティを表示する

機能概要	プロパティの表示
ショートカットキー	Alt + Enter
詳細説明	・ 選択したファイルのプロパティ画面を表示する

4.10. ファイル／フォルダを削除する

機能概要	ファイルやフォルダを [ごみ箱] に捨てる
ショートカットキー	Delete → Enter
詳細説明	・ 選択したファイルやフォルダをごみ箱に捨てる

(注) [ごみ箱] に捨てたファイル／フォルダをシステムから削除する場合は、
[ごみ箱] を開いた後 [ごみ箱を空にする] をクリックしてシステムから削除する。

機能概要	ファイルやフォルダを強制削除する
ショートカットキー	Shift + Delete
詳細説明	・ 選択したファイル/フォルダを「ごみ箱」を経由しないで、強制的にシステムから削除する

(注) **Shift** + **Delete** で強制削除、「ごみ箱を空にする」で削除したファイル/フォルダは、Windows (ファイル・システム) の管理対象外になるので開くことができない。
ただし、HDD の同じ場所に別のデータが書き込まれるまでは、HDD に削除したデータが残っているため、特殊なユーティリティ・ソフトで復元できる可能性がある。

5. Internet Explorer のショートカット・キー

5.1. 日常的な機能をマウスなしで使う

ここでは、Internet Explorer で日常的に使われている機能をキー操作だけで行う方法を紹介します。

機能概要	ページ更新 (最新ページを読み込み表示する)
ショートカットキー	F5
詳細説明	・ キャッシュ ^(※) したページの表示でなく、最新ページを閲覧表示する

(※) 過去に閲覧したページを素早く表示するために「インターネット一時ファイル」に一時保存することを言う。

機能概要	キーワードを入力して Web ページを検索する
ショートカットキー	Ctrl + E
詳細説明	・ 「検索」画面を表示し、入力枠内にカーソルを移動する (「キーワード」を入力した後、 Enter キーで検索する)

機能概要	URL を入力して Web ページを閲覧する
ショートカットキー	Alt + D
詳細説明	・ 「アドレス」バーに移動し、URL を反転表示した状態にする (反転表示した状態で「URL」を入力した後、 Enter キーで閲覧する)

機能概要	「お気に入り」を表示する
ショートカットキー	Alt + A
詳細説明	・ 「お気に入り」を表示する

機能概要	ページ内の文字列を検索する
ショートカットキー	Ctrl + F
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 検索バーを表示するので、検索する文字列を入力し確定すると、ヒット数と1件目のヒット箇所を反転表示する。 (Enter キーを押す毎に、サイクリック (順繰り) に次のヒット箇所を反転表示する)

機能概要	InPrivate ブラウズのウィンドウを開く 《I.E.8 以降》
ショートカットキー	Ctrl + Shift → P
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 履歴その他の痕跡を残さず Web ページを閲覧する InPrivate ブラウズの詳細は次のページ (URL) を参照のこと http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-vista/What-is-InPrivate-Browsing

(参考) Google 社の [Chrome] では、同様の機能を「シークレット ウィンドウ」と呼んでいる。

5.2. ページの表示範囲を移動 (変更) する

ページ内の表示範囲の移動 (移動) は非常によく使う機能である。マウスを用いずキー操作だけで移動できれば Web ページの閲覧が大幅に効率化する。

機能概要	ページの先頭に移動する
ショートカットキー	Home
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧ページの見出しに移動する

機能概要	ページの最終に移動する
ショートカットキー	End
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧ページの最後に移動する

機能概要	ページ内をジャンプする
ショートカットキー	Ctrl + (PgUp or PgDn)
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧ページ内をジャンプ (画面の表示単位に移動) する PgUp : 上方向にジャンプ、PgDn : 下方向にジャンプ

機能概要	ページ内をスクロールする
ショートカットキー	Ctrl + [方向キー]
詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧ページを方向キーの方向にスクロールする ↑ : 上方向にスクロール、↓ : 下方向にスクロール、 ← : 左方向にスクロール、→ : 右方向にスクロール

5.3. タブ操作でページを切り替える 《I.E.7以降》

Internet Explorer 7 以降では、「タブブラウザ機能」が追加されている。ここでは、タブブラウザ機能に関するショートカット・キーを紹介する。

(参考) I.E.6 以前では、新しいページを開くと新しいウインドウが作成され、複数のウインドウが表示されていた。

これに対し、I.E.7 以降で採用されたタブブラウザでは、新しいページを開くとウインドウ内にタブが作成されてページを表示するようになった。このタブを切り替えるだけで表示ページを切り替えることができる。

機能概要	次のタブに移動する
ショートカットキー	Ctrl + Tab
詳細説明	・ 表示中のタブの右 (次) のタブのページを表示する

機能概要	前のタブに移動する
ショートカットキー	Ctrl + Shift + Tab
詳細説明	・ 表示中のタブの左 (前) のタブのページを表示する

機能概要	表示中のタブを閉じる
ショートカットキー	Ctrl + W
詳細説明	・ 表示しているタブのページを閉じる

機能概要	新しいタブを開く
ショートカットキー	Ctrl + T
詳細説明	・ 新しいページ用のタブを開く

6. Word のショートカット・キー

6.1. 段落の横配置 (揃え) を変更する (両端 / 中央 / 右 / 左)

機能概要	両端揃えにする
ショートカットキー	Ctrl + J
詳細説明	・ 選択した段落を両端揃え (≡) にする

機能概要	右揃えにする
ショートカットキー	Ctrl + R
詳細説明	・ 選択した段落を右揃え (≡) にする

機能概要	中央揃えにする
ショートカットキー	Ctrl + E
詳細説明	・ 選択した段落を中央揃え (≡) にする

機能概要	左揃えにする 《Word 2007 以降》
ショートカットキー	Ctrl + L
詳細説明	・ 選択した段落を左揃えにする (注) Word 2003 以前では、全てのボタンをオフ (≡ ≡ ≡) にすると左揃えになる

6.2. 文字を強調する (太字/斜体/下線)

機能概要	文字列を太字に変更する/元に戻す
ショートカットキー	Ctrl + B
詳細説明	・ 選択した文字列を太字に変更する (再度の Ctrl + B で元に戻る)

機能概要	文字列を斜体に変更する/元に戻す
ショートカットキー	Ctrl + I
詳細説明	・ 選択した文字列を斜体に変更する (再度の Ctrl + I で元に戻る)

機能概要	文字列に下線を引く/元に戻す
ショートカットキー	Ctrl + U
詳細説明	・ 選択した文字列に下線を引く (再度の Ctrl + U で元に戻る)

6.3. カーソルを移動する

次のショートカット・キーを組み合わせると、目的の文字列の前にカーソルを移動できる。

機能概要	文頭にカーソルを移動する
ショートカットキー	Ctrl + Home
詳細説明	・ 文章の先頭文字の前にカーソルを移動する

機能概要	文末にカーソルを移動する
ショートカットキー	Ctrl + End
詳細説明	・ 文章の最終文字の後ろにカーソルを移動する

機能概要	上下方向にジャンプする
ショートカットキー	PgUp or PgDn
詳細説明	・ 文章内でカーソルをジャンプ（画面の表示単位に移動）する PgUp : 上方向にジャンプ、 PgDn : 下方向にジャンプ

機能概要	1行単位にカーソルを移動する
ショートカットキー	↑ or ↓
詳細説明	・ 文章内を1行単位にカーソルを移動する ↑ : 1行上に移動、 ↓ : 1行下に移動

機能概要	1文字単位にカーソルを移動する
ショートカットキー	← or →
詳細説明	・ 文章内を1文字単位にカーソルを移動する ← : 1文字左に移動、 → : 1文字右に移動

6.4. 文字列を選択する

文字列を範囲選択する時は、6.3節「カーソルを移動する」で先頭文字の前にカーソルを移動した後、次に示す操作で最後の文字の後ろまでカーソルを移動して範囲選択する。

機能概要	文字列を選択する
ショートカットキー	文字列の先頭文字の前にカーソルを移動する（6.3節を参照） → Shift + 方向キー で文字列の最終文字の後を指定
詳細説明	・ 先頭の文字を選択した後、 Shift + 方向キー で最後の文字を選択する → : 選択文字を1文字増やす、 ← : 選択文字を1文字減らす、 ↓ : 選択文字を1行分増やす、 ↑ : 選択文字を1行分減らす

6.5. 文字列を置換する

機能概要	文字列を置換する
ショートカットキー	Ctrl + H
詳細説明	・ [検索と置換] 画面を表示させ、[検索する文字列] にカーソルを移動する





7. Excel のショートカット・キー





7.1. セルを選択する

次のショートカット・キーを組み合わせ、目的のセルを選択する。





機能概要	先頭セルを選択する
ショートカットキー	Ctrl + Home
詳細説明	・ A1 セルを選択する

機能概要	データがある最終のセルを選択する
ショートカットキー	Ctrl + End
詳細説明	・ データが入力されている最終のセルを選択する

機能概要	隣のセルを選択する
ショートカットキー	[方向キー]
詳細説明	・ 現在のセルの隣のセルを選択する ・ [方向キー] :  で行の右のセルを選択し、  で行の左のセルを選択し、  で列の上のセルを選択し、  で列の下側のセルを選択する

機能概要	同一行／同一列のデータがあるセルを選択する
ショートカットキー	Ctrl + [方向キー]
詳細説明	・ 現在のセルの同一行／同一列で、データが入力されているセルを選択する ・ [方向キー] :  で行の右にあるデータがあるセルを選択し、  で行の左にあるデータがあるセルを選択し、  で列の上にあるデータがあるセルを選択し、  で列の下にあるデータがあるセルを選択する

7.2. セルを範囲選択する

機能概要	セルを範囲選択する
ショートカットキー	範囲選択するセルの先頭を選択（7.1節を参照）を選択した後、 Shift + [方向キー]
詳細説明	<ul style="list-style-type: none">現在のセルを起点にして、[方向キー] の方向に範囲選択する[方向キー] :  で行の右の列に選択範囲を拡大し、  で行の左の列に選択範囲を縮小し、  で列の下の方に選択範囲を拡大し、  で列の上に行の選択範囲を縮小する

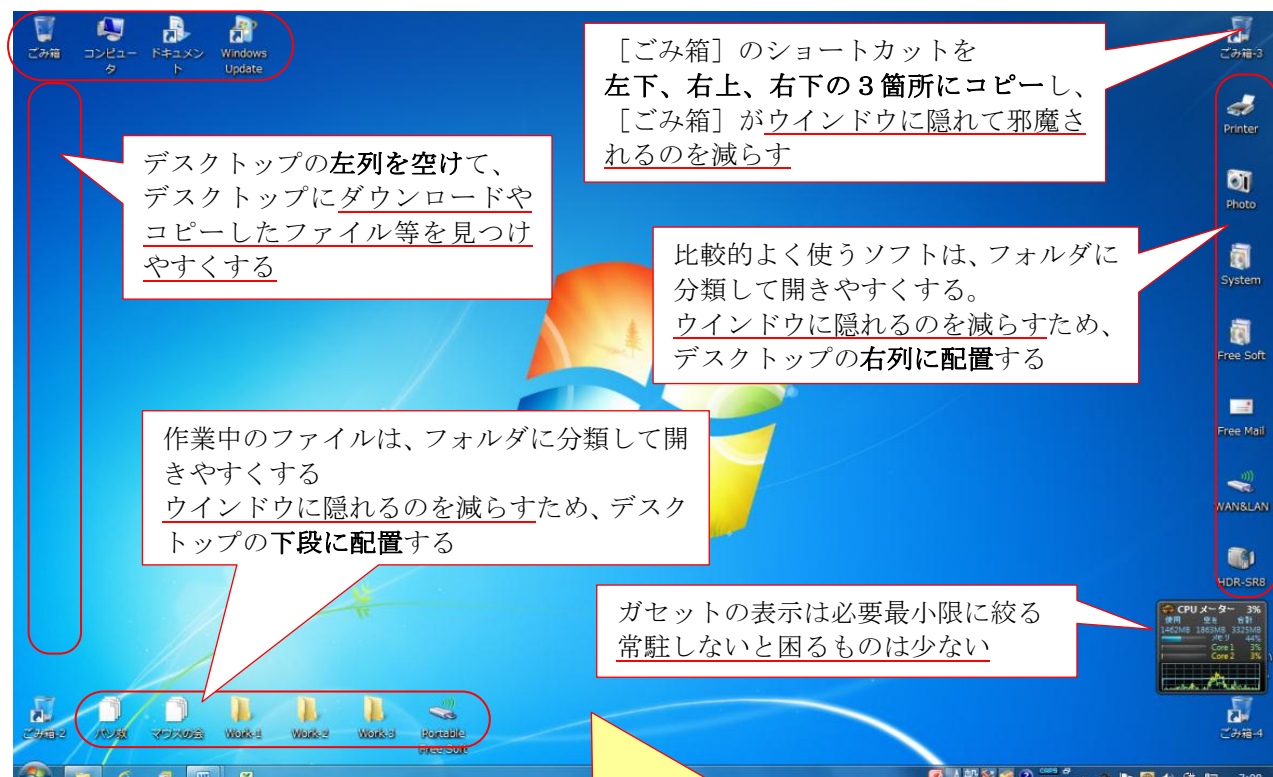
7.3. シートを切り替える

機能概要	シートを切り替える
ショートカットキー	Ctrl + (PgUp or PgDn)
詳細説明	<ul style="list-style-type: none">現在のシートの隣のシートに移動する PgUp : 左隣のシートに切替え、PgDn : 右隣のシートに切替え

お疲れ様でした！

【おまけ】 操作しやすくするデスクトップの一提案

ショートカット・キーは操作を早道でてっとり早い方法で行うために準備された手段であるが、パソコンの操作を楽にするための対策としてデスクトップをすっきりと整理して、デスクトップに表示したショートカット・アイコンを使用しやすくする工夫も重要である。



デスクトップの左列を空けて、デスクトップにダウンロードやコピーしたファイル等を見つけやすくする

【ごみ箱】のショートカットを左下、右上、右下の3箇所にコピーし、【ごみ箱】がウインドウに隠れて邪魔されるのを減らす

比較的よく使うソフトは、フォルダに分類して開きやすくする。ウインドウに隠れるのを減らすため、デスクトップの右列に配置する

作業中のファイルは、フォルダに分類して開きやすくする。ウインドウに隠れるのを減らすため、デスクトップの下段に配置する

ガセットの表示は必要最小限に絞る。常駐しないと困るものは少ない

頻繁に使用するソフト、フォルダ等を厳選しクイック起動に置く

デスクトップのショートカットを見やすくするために、シンプルな壁紙を使用する
(複雑で濃淡の強い写真、画像等を使わない)